

冬は、熊本県立美術館で ゆったりとした時間を すごしませんか？

展覧会
情報

◆展覧会紹介1 美術館コレクションⅢ常設展示

熊本の仏教美術と歴史

美術館コレクションでは、奈良時代の金銅誕生仏や、阿蘇市・西巖殿寺さいがんでんじなどの平安時代の仏像、熊本市・大慈禅寺だいじぜんや玉名市・広福寺こうふくじなどの鎌倉時代の禅宗美術など、熊本の仏教美術の流れを観覧できます。



(手前)国指定重要文化財

《木造十一面観音立像》

熊本市・報恩寺所蔵(熊本県立美術館寄託)

(奥・左)福田太華《出山釈迦図》

(奥・右)福田太華《施無畏尊者図》

熊本市・大慈寺所蔵(県立美術館寄託)



(左)《銅造誕生仏立像》

(右)県指定重要文化財《銅造誕生仏立像》

玉名市・広福寺所蔵(県立美術館寄託)



(左・中央・右)県指定重要文化財

(左)《木造毘沙門天立像》

(中央)《木造十一面観音立像》

(右)《木造不動明王立像》

阿蘇市・西巖殿寺所蔵(県立美術館寄託)



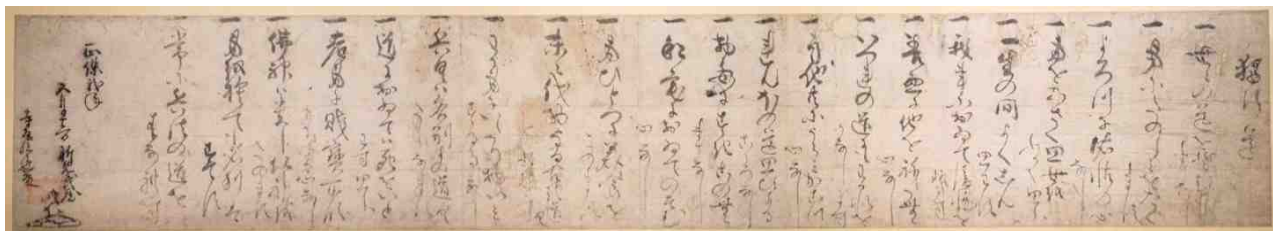
市指定文化財《池辺寺縁起絵巻》部分

熊本市・池辺寺跡財宝管理委員会所蔵

(県立美術館寄託)

◆ 展覧会紹介2 細川コレクションⅢ 特集展示

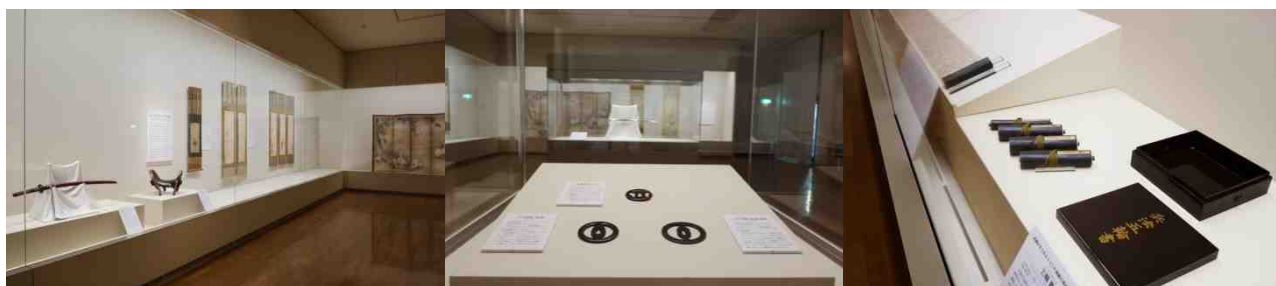
武蔵、熊本にきたる！



県指定重要文化財 宮本武蔵《獨行道》鈴木猛氏寄贈(県立美術館所蔵)

剣豪・宮本武蔵は、寛永17年(1640)に熊本を訪れ、ここに終の棲家を見出します。武蔵は、熊本でどのような晩年を過ごし、どのような思いを、作品を、熊本に残したのでしょう。

この特集展示では、永青文庫所蔵の作品に加え、松井文庫に伝来した作品も展示し、剣術修行や指南のみならず、書画にもいそしんだ武蔵の晩年と、当時の熊本にスポットをあてます。また、岡山県立美術館の武蔵コレクションも特別展示。熊本に選りすぐりの武蔵作品が勢揃いです!!!



武蔵、熊本にきたる！ 展示風景

◆ 展覧会紹介3 企画展



《作品#9》2007年 個人蔵

2018年4月、群馬県で一人の画家が息を引き取りました。彼の名は佐々木耕成。

彼は、1928年に菊池群泗水村(現・菊池市泗水町)で生まれ、1960年代の東京で前衛芸術グループ〈ジャックの会〉の実質的リーダーとして活躍した人物です。熊本では、1963年に「郷土出身 佐々木耕成個展」が開催されましたが、

以後、彼が郷里で活動することはありませんでした。1967年の渡米以来、消息は不明とされてきました。しかし、2000年代初頭には群馬で活動を再開していることが明らかになります。

本展は、知られざる熊本出身画家・佐々木耕成を紹介する55年ぶりの郷里個展です。「美術の変革」を目指し、前衛芸術を社会に根付かせるために活動した佐々木耕成。その生涯の軌跡をたどります。



エントランス・吹き抜けホールにも展示しています



アトリエでの佐々木耕成 2017年撮影

- ◆ **会期** 開催中～12月16日(日)
- ◆ **休館** 月曜日(祝日開館、翌平日休館)
- ◆ **場所** 県立美術館 本館2階(1室「武蔵、熊本にきたる!」・2室「熊本の仏教美術と歴史」・3室「佐々木耕成アーカイブ」)
- ◆ **観覧料** 一般 270円(190円) 大学生 160円(120円)※()は団体20名以上の料金。※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方無料。

※「公立学校共済組合員証」をご提示ください。組合員本人様は1回に限り、観覧料が全額助成されます(ただし、松本零士展は対象外です)。



◆同時期開催 漫画界のレジェンド 松本零士展

会期：開催中ー 12月24日(月・振替休日)

場所：本館1階

観覧料：一般・大学生 1,200円(1,000円)、中高生 800円(700円) 小学生 500円(400円)

※()は団体20名以上の料金。※高校生以下、障がい者手帳をお持ちの方無料。

問合せ：TKUテレビ熊本 事業部 ☎ 096-351-1140

《メーテル・永遠に》©松本零士



KUMAMOTO PREFECTURAL MUSEUM OF ART

熊本県立美術館

問合せ

電話／096-352-2111
FAX／096-326-1512

熊本県立美術館 検索